

魁!! 智美塾

テストアーキテクチャ解説
~ テストアーキテクチャ設計を
実践するには~
智美塾塾長 + 塾生一同

智美塾設立経緯とその後 壱

- ・ 智美塾とは、JaSST'09 Tokyoのクロージングパネルで提示されたテストライフサイクルを進化させつつ、塾長の厳しい指導のもと、塾生たちが自らの“テスト開発方法論”を目指し活動する梁山泊である。



- ・ JaSST'10 Tokyo, JaSST'11 Tokyoではその考え方の一部と、考え出す過程の議論を披露した。

智美塾設立経緯とその後 弐

- ・ その後も智美塾では、テスト開発方法論の中核をなす“テストアーキテクチャ”について検討を重ねてきた。

- ・ そして、検討の成果として、
“テストアーキテクチャ”

という概念のあらましを文書化することを決意した。JaSST'12 Tokyoでは、この文書の要となる、テスト要求分析及びテストアーキテクチャ設計の章について解説を行う。

本日の要旨と目的

壱．テスト要求分析

テストアーキテクチャ設計のインプットとなるテスト要求分析で収集すべき要素は何か、なんのために集めるか、どのように分析するか、を考える。

弐．テストアーキテクチャ設計

テストアーキテクチャとは何か、を知り、テストアーキテクチャ設計をどのように行うか、どのように用いるかを考えることで、自身のテストの取り組みの向上の一助とする。

智美塾本の構成

版

壹．はじめに

貳．テストプロセス

テスト要求分析

テストのライフサイクルと要求の源泉

参．テストアーキテクチャ設計

定義、考慮点、具体例

四．事例と解説

五．海外におけるテストの上流設計

本日の登壇者

塾長：

吉澤智美

二号生：

鈴木 三紀夫

秋山 浩一

西 康晴

湯本 剛

**まずは
テスト要求分析
の話から始めます**

智美塾訓

1. 塾生はテスト開発方法論を目指し、自ら技術獲得に励む事
2. 塾生は現場を尊び、地に足の着いた技術論を行う事
3. 塾生は品質向上という最終目的を常に意識した活動を行う事

智美塾の目的

- 参加者それぞれが“テスト開発方法論”を構築すべく研鑽を重ねる。
- すなわち、“テスト開発方法論”の上位にあるメタな何かを探り理解することによって、自分なりに“テスト開発方法論”を理解し、より良く作りあげたり選択していくことができると思われる。
- 以上について、参加者全員による議論や共通理解、同意を重ねて進めていく。決して一方通行の講釈ではない。

来たれ！ 智美塾へ

- ・ 月一回程度、夜間に開催する(東京地区)。
 - ・ 参加案内はTEF(テスト技術者交流会ML) およびASTER Webへ提示
- ・ 参加希望者は参加案内に記載される参加要件(智美塾への参加動機、あるいはその回のお題について四百字以上で記述すること、など)をよく読み、応募すること。
 - ・ 他に参加資格としての要件はない。
腕に覚えのある者なら誰でも応募可能である。
- ・ 参加メールを塾長などで審議し、資格ありと認められた猛者のみ参加を許される。